

Volunteer Information

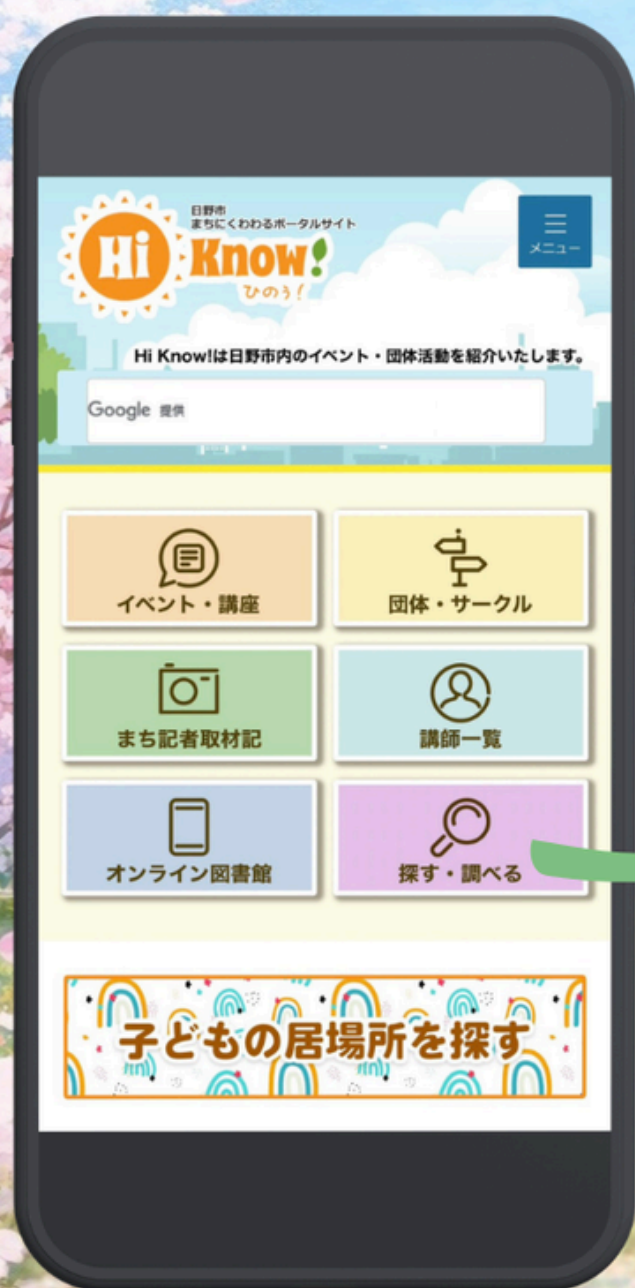
ボランティア
インフォメーション

2026
4月

日野

日野のこと、もっと知ろう。

—まちにくわるポータルサイト—



Hi Know! (ひのう)とは

市内で活動している市民サークルや団体、特技を持った講師の活動情報などを調べられるサイトです。

また、団体登録や講師登録すると、インターネット上で自分の団体や講座を紹介できます！

スマホで簡単アクセス！



Hi Know!
日野市ポータルサイト

今月注目のボランティア

人前で披露できる特技がなくても、
誰かの力になることができます！

あなたの『好き』を活かして
活動してみませんか？

●将棋の対局相手

活動先：福祉カフェ・リハビリサロン
(日野本町3-13-4)

内容：利用者の方(アマ2段)との対局。

●お話相手(傾聴ボランティア)

活動先：市内高齢者施設にて
対象：入居者・デイサービス等の利用者の方
内容：お話相手として一緒に時間を過ごす活動

●障がいのある子どもと一緒に遊ぶ活動

活動先：中央公民館 高幡台分室(体育館)
内容：知的障がい・自閉症の子どもとの交流

活動先の見学だけでも大歓迎！
まずはボランティアセンターまでご相談ください！

ボランティアインフォメーション 配布ボランティアの募集！

内 容：ボランティアインフォメーションを
配布するボランティア

活動先：ご自宅の近く～届けられる範囲
(応相談)

急募！：三沢3～5丁目、
高幡団地周辺エリア

日にち：毎月月末～月初

条 件：上記の時期に
インフォメーションを受取に来れる方



活動することで地域の再発見になるかも!?

【お知らせ】ドレミの部屋が4月より月に一度（第2月曜日）
福祉支援センターたまだいらで開催されます♪



特設HP

♪♪♪ ドレミの部屋 ♪♪♪

ド（どんな人でも）レ（れんげつしていく）ミ（みんなの
おへや） ひまこもり状態の方、生きにくいと感じている
方が、少しでも「ほっ」とできる場になれば嬉しいで
す。ちょっとお茶でも飲み に行くか！くらいの気軽な気持
ちでお話しをしまきてください。

★毎月第2月曜日 14:00～16:00

福祉支援センターたまだいら

(多摩平2-8-9)

最寄り駅は豊田駅

★毎月第4月曜日 14:00～16:00

中央福祉センター（日野本町7-5-23）

最寄り駅は日野駅

申込み：不要（途中参加、途中退室もOK）

※手話通訳や要約筆記にも対応できる

スタッフがいます。

ドレミの部屋で
お話しした内容は
秘密厳守です。

2026年度 上半期予定

青は豊田、赤は日野

4月：13日、27日 7月：13日、27日

5月：11日、25日 8月：10日、24日

6月：8日、22日 9月：14日、28日

福祉支援センターたまだいら



中央福祉センター



朗読サークル

「ひの」

会員大募集

視覚障害者施設等での対面朗読、オリジナル紙芝居の出張上演、「音訳版広報ひの」CD作成・（視覚障害者へ）送付作業などを行っています。

私たちといっしょにボランティア活動を行ってくださる方を募集します。

問合せはこちら

朗読サークル「ひの」 大矢

📞 042-592-2591

65歳位までの方
未経験者歓迎
パソコン操作
できる方尚可



内容

- ・福祉施設などでの対面朗読
- ・サークルオリジナル大型紙芝居を出張上演！
- ・自主製作CD作成
- ・広報ひの、市議会だよりの録音CD作成、送付
- ・その他 発表会、レクリエーション など

定例会

- ・第1・3（木曜）10時～12時
中央福祉センター会議室（日野本町7-5-23）
- ※ 毎月第3（木曜）定例会は講師指導あり
- ※ 定例会は、原則参加となります

スマホ個別相談会 開催中！

4月15日（水）（個別相談会）

時間：13：30～15：00

会場：平山交流センター（平山5-18-2）



4月20日（月）（スマホ体験会&相談会）

時間：10：30～12：00

会場：中央福祉センター（日野本町7-5-23）

4月23日（木）（個別相談会）

時間：13：30～15：00

場所：福祉支援センターたまだいら（多摩平2-8-9）

4月27日（月）（個別相談会）

時間：13：30～15：00

会場：福祉支援センターたかはた（高幡1011）



無料・完全予約制

※上記相談会へのご予約は原則2か月に1回

※連続月でのご予約希望は、キャンセル待ちで受付

※東京アプリに関する相談は来年度以降に対応予定

【申込先】日野市ボランティア・センター ☎042-582-2318

※4月1日（水）9：00～受付開始

登録をお願いします！

日野市ボランティアセンター
公式SNSアカウント



公式LINE



公式
FACEBOOK



X公式

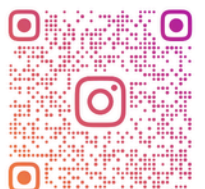


instagramはじめました



ボランティア情報・イベント情報
たくさん発信していきますので、

ぜひフォローお願いします！



HINO_VC

まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！



デフリンピック 銀メダルまでの道のり

私がデフサッカーと出会ったのは、今から6年前のことです。当時、日野市内に住んでいたデフサッカー日本代表の選手に誘われ、初めて試合に参加しました。小学校から社会人までサッカーは続けてきましたが、デフサッカーはそれまで経験がなく、この出会いが大きな転機となりました。試合後すぐに日本代表の練習に誘われ、そこから代表選手としての歩みが始まりました。

当時の私は手話ができず、聞こえにくさはあるながらも口の動きを読み取って生活していました。代表活動の中で必要に迫られ、約1年という短い期間で手話を習得しました。しかし、日本代表としての活動は決して簡単なものではありませんでした。当時はデフサッカーの認知度も低く、遠征の交通費や宿泊費、体のメンテナンス費用など、多くを自分で負担しなければなりません。私は福祉の仕事しながら競技を続け、有給休暇を使い、それでも足り

デフサッカー日本代表 名村 昌矩 さん

ないときは欠勤するしかありませんでした。職場の理解に支えられながらも、仕事と競技の両立には葛藤がありました。デフリンピックを前に、資金面での壁にも直面しました。そんな中、周囲の方の勧めで寄付を募ることに挑戦しました。不安もありましたが、多くの方が応援してくださり、支えられていることを強く実感しました。

同じ頃、日野市内の「瀧澤建設」が私の状況を理解したうえで採用を考えてくれたという話をいただきました。これまでお世話になった会社のことや、大会直前という状況もあり悩みましたが、周囲の後押しもあり面接を受けました。会長や社長をはじめ、社員の皆さんが真剣に向き合ってくれ、競技だけでなく将来のことまで見据えて採用してくださいました。会社の皆さんは試合会場の福島県まで応援にも来てくださり、手話を教えてくれた方々や市役所の皆さんなど、本当に多くの方に支えられていることを実感しました。

私はそのご恩を結果で返したいという思いで、必死に試合に臨みました。決勝ではトルコにあと一步及ばず敗れ、

とても悔しい思いをしました。日本として初めてのメダルを獲得することができました。試合後、応援してくれた方々のもとへ駆け寄ると、自分のことのように喜んでくれていた姿があり、本当にうれしく、胸がいっぱいになりました。

現在は市内の小学校で福祉教育の講師として、聞こえないことやデフサッカーについて子どもたちに伝えていきます。私も悲しさを感じてきましたが、大好きなサッカーと仲間を支えられて乗り越えてきました。社会にはさまざまな理由で困っている人がいます。そんな人を見かけたとき、見て見ぬふりをするのではなく、勇気をもって声をかけてほしい。そして、自分が困ったときには「助けて」と言える社会であってほしい。そんな思いを子どもたちに伝えていきます。



上右) ゴール仲間と喜ぶ様子
下左) 応援団に銀メダルの報告する様子

ボラセンつぶやき

やはり世界の動きが不穏になっています。私は子どもたちと「誰もが幸せになる社会」について毎年授業を通して一緒に学び続けています。その学びの中で子どもの目に映るものは澄んでいます。笑顔あふれる社会であるように。(宮崎雅也)

春の季節が始まりました！ 今月号の表紙にある『Hi Know! (ひのう)』では、市内で活動する団体やイベント情報を掲載しています。新しい発見や、ワクワクする出会いがあるかもしれません♪ ぜひお試しあれ！ (橋谷優希)

4月の新学期を迎え、入職2年目となりました。昨年度は小学校で福祉の授業に関わり、子どもたちと学ぶ機会をいただき、様々な体験を行いました。今年度も新たな出会いを楽しみに一緒に体験していきたいと思っております！ (花野美保)

4回にわたる傾聴ボランティア養成講座が無事終わりました。初回緊張していた方々もワークを行うごとに柔らかな表情に変化していきました。安心して話せる場づくりを大切に活動していただけたらと思います。(小俣由佳子)

ハートフルプロジェクト講演会を開催し、100名以上の方にご参加いただきありがとうございました。小学生、高校生、デフサッカー選手、お笑い芸人の方々にトークセッションをしていただき、「障害は特別なことと考えず、困ったときに助け合う」という考え方に共感しました。障害のあるなしに関わらず、互いに支えあう社会になりますように。(宮田彩乃)